



大阪市立 梅香中学校



所在地 〒554-0021 大阪市此花区春日出北 3-12-24

電話番号 06-6462-2171



校長名 砂場 秀人

梅香中学校

検索

学校概要

本校は、昭和24(1949)年に此花第二中学校として、大阪市立伝法小学校に併設され、昭和25(1950)年に現校名に改称、現在の梅香小学校の敷地に校舎が置かれました。昭和28(1953)年に現在の地に移り、校舎敷地とは別にグラウンド敷地がある施設面で非常に恵まれた環境の中学校となっています。

『学ぶ心 強い心と体 美しい心』を校訓に、約600名を超える生徒が勉学や学校行事、部活動に励んでいます。

標準服



運営に関する計画 中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する生徒の割合を85%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の思考・判断・表現(言語についての知識・理解・技能)に関する項目の平均正答率を、令和3年度より8ポイント増加させる。
- 令和7年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合を、令和3年度(男子39.28 女子39.38)より3ポイント向上させる。

【学びを支える教育環境の充実】

- 令和7年度の全国学力・学習状況調査の「1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の項目について、「ほぼ毎日」と答える児童(生徒)の割合を100%にする。

部活動

運動部：ラグビー・軟式野球・サッカー・ソフトテニス・陸上・バドミントン・バレーボール・卓球
文化部：吹奏楽・美術・パソコン・書道

卒業後の主な進路

令和5年度卒業生:190名

●公立

東淀川、港(4)、清水谷、汎愛、吹田、旭、豊島、東(4)、花園、阿倍野、日根野、都島工業、工芸、今宮工科、西野田工科(10)、東淀工業、生野工業、泉尾工業、高津、大手前(3)、四條畷、桜宮、花園、夕陽丘、大阪ビジネスフロンティア、淀商(7)、堺、住吉商、港南造形(3)、西成、咲くやこの花(4)、柴島、大正白稜、芦間、今宮、市岡(5)、教育センター付属、なにわ高等支援

●私立等

興国(3)、清風、東大阪大柏原、明星、金蘭会、好文学園(4)、大阪成蹊女子(3)、宣真(3)、相愛、大阪学院、大阪薫英女学院、明浄(4)、あべの翔学、英真学園、大阪(6)、大阪偕星学園、大阪学院大学(8)、大阪学芸(8)、大阪産業大学(8)、大阪信愛学院、大阪夕陽丘学園、関西大倉、近大付属、金光藤蔭(4)、常翔学園、昇陽(13)、大商学園、浪速、近大付属新宮、三田学園、渡辺高等学院、ECCコンピューター、大阪情報コンピューター、大阪つくば開成、英風(3)、ルネサンス大阪(6)、飛鳥未来さばう、八洲学園、星槎国際、第一学院、N高

(3名以上は人数を記載・順不同)

全国学力・学習状況調査

※令和5年度の平均正答率

国語	数学	英語
65	44	37

【結果の概要及び成果と課題】

【国語】●「書くこと」については大阪府を上回っている。●「聞き取った内容を自分の考えでまとめること」、「根拠を明確にして考える」ことについて無回答率が高い。

【数学】●「データ活用」より、「数と式」、「図形」のほうが課題がある。●「数学的表現を用いて説明する」、「証明すること」について無回答率が高い。

【英語】●「書くこと」が大きく下回っている。●「理由」「依頼を正確に書く」「まとまりのある文章を書く」ことについて、無回答率が高い。●今回の課題は、3教科に限らず、どの教科においても同様の課題があると思われる。どの教科においても、「思考力・判断力・表現力」を育成する授業づくりを進める必要がある。

※調査結果の正答率数値は、学力を測る一つの物差しではありますが、単年度結果であるこの数字をもって、現在の本校総体としての「学力」を示すものではありませんのでご注意ください。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査

※令和5年度の調査結果

	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅跳び	ボール投げ
男子	26.14kg	24.35回	42.35cm	48.87回	79.46回	8.26秒	192.43cm	18.85m
女子	20.81kg	18.55回	44.37cm	42.45回	42.66回	9.52秒	155.07cm	10.18m

【結果の概要及び成果と課題】

令和5年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の体力合計点の対全国比の割合が男子が0.04ポイント、女子は0.02ポイント下回った。《今後に向けて》各単元ごとに1回以上はペアワークやグループワークを導入し、生徒同士の学習に対する主体性を高めることで、互いが切磋琢磨しながら技能を習得し、定着できるように授業を展開することができた。今後も更にペアワークやグループワークの行い方について工夫していきたい。

教育目標「心豊かでたくましく生きる子の育成」

- 人間尊重の精神を基盤にし、体験的な学習等の豊かな教育活動を通して、生徒一人ひとりの、成就感や達成感、自尊感情を高め、「生きる力」を育む。
- 基礎学力の向上とともに「確かな学力」の獲得

重点目標

【学校経営】

- 生徒の自尊感情を醸成し、秩序ある学校を創造(授業を大切にしている生徒を育む)する。
- 地域の中の学校として、地域から信頼される教育活動を展開する。

【学習指導】

- 多様な指導を展開し、個々の能力の向上を図る。
- 生徒一人ひとりの学校生活が豊かで充実したものになるように、特別活動を通して自主的、実践的な生活態度を育てる。
- 人間尊重の精神を基礎とした、潤いと活力のある教育実践により「生きる力」の育成を図る。

【生活指導】

- 中学生として健康で安全な学校生活を送らせると同時に、自他共に認め合える人間尊重の精神を養う。

【保健管理・指導】

- 生命・環境の尊重を明確にし、健康管理の習慣化に努める。

学校行事（行き先は令和6年度）

一泊移住(1年・国立曽爾青少年自然の家)

修学旅行(3年・沖縄方面)

文化発表会

合唱コンクール(9月)

芸術鑑賞(9月)

体育大会(10月)

※令和6年：体育大会と合唱コンクールの時期を入れ替え

職場体験(2年)

球技大会

他

